

安全データシート

クロラミンT三水和物

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名 : クロラミンT三水和物
CB番号 : CB6157601
CAS : 7080-50-4
EINECS番号 : 204-854-7

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。
推奨されない用途 : なし

会社ID

会社名 : Chemicalbook
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話 : 010-86108875

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

急性毒性, 経口 (区分4), H302
このセクションで言及されたH-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。
皮膚腐食性 / 刺激性 (細区分1B), H314
水生環境有害性 短期（急性）(区分2), H401
呼吸器感作性 (区分1), H334
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 (区分1), H318

2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

絵表示

GHS05	GHS07	GHS08

注意喚起語

危険

危険有害性情報

H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

H401 水生生物に毒性。

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

H302 飲み込むと有害。

注意書き

安全対策

P260 粉じん / ミストを吸入しないこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P284 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

応急措置

P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

P304 + P340 + P310 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

保管

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
別名	: N-Chloro-p-toluenesulfonamidesodium salt
化学特性(示性式、構造式 等)	: C7H7ClNNaO2S · 3H2O
分子量	: 281.69 g/mol
CAS番号	: 7080-50-4
EC番号	: 204-854-7
化審法官報公示番号	: -
安衛法官報公示番号	: -

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

応急措置担当者は自分が暴露しないよう、適切な防護を行う。この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。ただちに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師を呼ぶ。

眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。ただちに眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

飲み込んだ場合

飲み込んだ後は水を飲ませ(多くてもグラス2杯)、嘔吐を避ける(穿孔のリスクあり)直ちに医師を呼ぶ。中和させようとしないこと。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

適切な消火剤

水 泡 二酸化炭素 (CO₂) 粉末

5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物

窒素酸化物(NO_x)

可燃性。

蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

酸化ナトリウム

塩化水素ガス

硫黄酸化物

5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

5.4 詳細情報

ガス / 蒸気 / ミストを水スプレージェットで抑える (除去する)。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: ほこりを吸い込まないこと。触れないようにすること。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手

順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10 参照) 慎重に行うこと。適切に廃棄すること。関連エリアを清掃のこと。ほこりが生じないようにすること。

6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション 13 を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項

換気フードの下で作業すること。吸い込まないこと。

衛生対策

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。注意事項は項目 2.2 を参照。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 8A: 可燃性、腐食性危険物

保管条件

密閉のこと。乾燥。鍵をかけておくか、資格のあるまたは認可された人のみが入り出できる場所に入れておく。酸の近くに保管しない。不活性ガス下に貯蔵する。空気に反応する。

7.3 特定の最終用途

項目 1.2 に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

8.2 曝露防止

適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

保護具

眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の

保護具を使用する。密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ

適用される。溶解、他の物質との混合、およびEN374に記載の逸脱条件での使用については、

CE認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと(例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet:

www.kcl.de)

フルコンタクト

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: KCL 741 Dermatril® L

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ

適用される。溶解、他の物質との混合、およびEN374に記載の逸脱条件での使用については、

CE認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと(例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet:

www.kcl.de)

飛沫への接触

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: KCL 741 Dermatril® L

身体の保護

保護衣

呼吸用保護具

ほこりが生じた際に必要。

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387お

よび使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

外観	形状: 粉末色: オフホワイト
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	8.0 - 10.0 at 50 grm/l at 20 °C
融点 / 凝固点	融点/ 範囲: 167 - 170 °C - lit.
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	192 °C - 密閉式引火点試験
蒸発速度	データなし
可燃性 (固体、気体)	データなし
引火上限/下限または爆発限界	データなし

蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
密度	データなし
比重	データなし
水溶性	可溶
n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度	動粘度 (動粘性率): データなし 粘度(粘性率): データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	なし
データなし	

9.2 その他の安全情報

データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

引火点より下のおよそ15ケルビンからの範囲は危険とみなされている。

通常想定される。

酸と接触すると、有毒ガスを発生。

可燃性有機物質及び製剤に概ね該当：微細に分散し、舞い上がった場合、粉じん爆発を起こす可能性が

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

10.3 危険有害反応可能性

次との反応で有毒ガスや煙を生じる

酸類

10.4 避けるべき条件

強力な熱

10.5 混触危険物質

酸の近くに保管しない。 , 強酸化剤, アンモニア

10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

急性毒性

LD50 経口 - ラット - オスおよびメス - 935 mg/kg

(OECD 試験ガイドライン 401)

備考: (無水物)

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-**p**-トルエンスルホクロラマイド

症状: 飲み込むと、口内および喉に重症の火傷をおこすだけでなく、食道、胃に穴をあける危険性もある。

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-**p**-トルエンスルホクロラマイド

経皮: データなし

症状: 粘膜の炎症, 咳, 息切れ, おそれのある障害:, 気管の損傷

備考: (無水物)

(OECD 試験ガイドライン 403)

LC50 吸入 - ラット - オスおよびメス - 4 h - > 0.275 mg/l - 粉じん/ミスト

皮膚腐食性 / 刺激性

皮膚 - ウサギ

結果: 火傷を起します。 - 4 h

(OECD 試験ガイドライン 404)

備考: (無水物)

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-**p**-トルエンスルホクロラマイド

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼 - ウサギ

結果: 重篤な眼の損傷。 - 72 h

備考: (無水物)

重篤な眼の損傷。

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-**p**-トルエンスルホクロラマイド

(OECD 試験ガイドライン 405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。 (ECHA) (無水物)

生殖細胞変異原性

試験タイプ: Ames 試験

方法: OECD 試験ガイドライン 471

乳動物細胞遺伝子変異試験

テストシステム: マウスリンパ腫細胞

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

方法: OECD 試験ガイドライン 476

結果: 陰性

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-**p**-トルエンスルホクロラマイド

試験タイプ: 小核試験

種: マウス

細胞型: Red blood cells (erythrocytes)

備考: (無水物)

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-**p**-トルエンスルホクロラマイド

結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 474

投与経路: 経口

備考: (無水物)

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-p-トルエンスルホクロラマイド試験タイプ: in vitro 嘔

備考: (無水物)

結果: 陰性

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

テストシステム: 大腸菌/ネズミチフス菌

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データなし

データなし

誤えん有害性

データなし

11.2 追加情報

反復投与毒性 - ラット - オス - 経口 - 90 Days - 無毒性レベル - 214 mg/kg - 最小毒性レベル -

738 mg/kg

備考: (無水物)

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-p-トルエンスルホクロラマイド

症状の発現は2〜4時間またはそれ以上遅れる可能性がある。、咳、息切れ、頭痛、吐き気、嘔吐、反復暴

露により、ぜん息を起こす可能性がある。

吸収後

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

毒性症状に関する記述なし。

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

体内への吸収により、十分な濃度のときにチアノーゼをおこすメトヘモグロビンの形成を引き起こす。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

魚毒性

止水式試験 LC50 - *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス) - 100 mg/l - 96 h

(US-EPA)

備考: (無水物)

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-p-トルエンスルホクロラマイド

ミジンコ等の水生無脊

EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 4.5 mg/l - 48 h

脊椎動物に対する毒性

備考: (IUCLID)

最大無影響濃度 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 1.1 mg/l - 21 d

(OECD 試験ガイドライン 202)

藻類に対する毒性

止水式試験 ErC50 - *Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻) - 13 mg/l - 96 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

備考: (無水物)

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-p-トルエンスルホクロラマイド

微生物毒性

止水式試験 EC50 - 活性汚泥 - 37 mg/l - 3 h

(OECD 試験ガイドライン 209)

備考: (無水物)

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-p-トルエンスルホクロラマイド

12.2 残留性・分解性

生分解性

好気性 - 曝露時間 28 d

結果: 92 % - 易分解性。

(OECD 試験ガイドライン 301D)

備考: (無水物)

値は以下の物質と同様に得られる。 ソジウム-p-トルエンスルホクロラマイド

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性 *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス) - 1 h

生物濃縮因子 (BCF) : 2.2

で 11.8 °C - 20 mg/l (クロラミン T 三水和物)

12.4 土壌中の移動性

データなし

12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB 評価データはない。

12.6 内分泌かく乱性

データなし

12.7 他の有害影響

環境への放出は必ず避けなければならない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品

14. 輸送上の注意

14.1 国連番号

ADR/RID（陸上規制）：3263 IMDG（海上規制）：3263 IATA-DGR（航空規制）：3263

14.2 国連輸送名

IMDG（海上規制）：CORROSIVE SOLID, BASIC, ORGANIC, N.O.S. (Chloramine-T trihydrate)

IATA-DGR（航空規制）：Corrosive solid, basic, organic, n.o.s. (Chloramine-T trihydrate)

ADR/RID（陸上規制）：CORROSIVE SOLID, BASIC, ORGANIC, N.O.S. (クロラミン T三水和物)

14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID（陸上規制）：8 IMDG（海上規制）：8 IATA-DGR（航空規制）：8

14.4 容器等級

ADR/RID（陸上規制）：II IMDG（海上規制）：II IATA-DGR（航空規制）：II

14.5 環境危険有害性

非該当

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR（航空規制）：非該当

14.6 特別の安全対策

なし

14.7 混触危険物質

酸の近くに保管しない。、強酸化剤, アンモニア

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内適用法令

消防法：

危険物に該当しない。

毒物及び劇物取締法：

非該当

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則：

非該当

有機溶剤中毒予防規則：

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物：

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

非該当

化学物質排出把握管理促進法:

非該当

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

IATA: 国際航空運送協会

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>

[pageID=0&request_locale=en](#)

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。